

シャーシシェアリング社会実装に向けた課題と対応(案)

関東地方整備局 港湾空港部

令和4年3月24日

シャーシシェアリング社会実装に向けた課題と対応(案)

対象		課題		対応方針(案)	実証実験における確認方法(案)	次回実証	机上検討
シャーシシェアリング利用者		1-1	利用者の条件設定	安全確保・コンプライアンスを考慮した利用者の条件を検討	—	-	○
手続き	事業用ナンバー、車検証の変更	2-1	車検証変更手続きの簡素化措置の継続	R3dシャーシシェアリング実証実験にて同措置の有用性を確認済み	—	済	済
	相互使用協定	2-2	相互使用協定の効率的な締結	シャーシシェアリング利用申込と併せて締結する仕組みを導入	—	-	○
	特殊車両通行許可	2-3	効率的な申請(運営者or利用者)	利用者(陸運事業者)が各自で特車申請を実施	利用者(陸運事業者)による申請を行い、課題を確認 ・課題の把握:事後アンケート(運営者、利用者)	○	○

※赤字:実証実験内容の追加または変更
青字:データの分析方法

対象		課題		対応方針(案)	実証実験における確認方法(案)	次回実証	机上検討
準備	シェアリングシャーシ	3-1	稼働率を考慮したニーズの高い種別のシャーシの配置	<ul style="list-style-type: none"> ・20ft、40ft、兼用を配置 ・ニーズの高い40ftの割合を多く設定 	各シャーシプールにシャーシ10台配置。 40ftの割合を増やして稼働率を確認。 前回) 20ft:4台、40ft:4台、兼用:2台 次回) 20ft:2台、40ft:6台、兼用:2台 <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率の把握: 予約システム ・稼働状況の把握: 日報(運営者、利用者)、事後アンケート(運営者、利用者) 	○	○
		3-2	コンテナターミナルのゲートオープン時間を考慮した貸出・返却時間	南本牧コンテナターミナルのゲートオープン(7:30)に間に合う貸出・返却時間を設定	貸出・返却は24時間可能、予約センターの対応時間は7:00~19:00と設定。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況の把握: 予約システム ・課題の把握: 日報、事後アンケート 	○	○
	利用ルール	3-3	予約の変更・キャンセル方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・予約システムを用いた予約変更・キャンセルの時間制限を緩和 ・トラクタの変更等のルールを設定 	予約の変更・キャンセルの時間制限の緩和による使い勝手や管理・運営等の課題を確認 <ul style="list-style-type: none"> ・予約変更・キャンセルの件数・時間の把握: 予約システム ・使い勝手や管理・運営等の課題の把握: 事後アンケート(運営者、利用者) 	○	○

対象		課題		対応方針(案)	実証実験における確認方法(案)	次回実証	机上検討
準備	シャーシプール	3-4	ニーズの高い地区へのシャーシプールの設置	南本牧及び本牧などにシャーシプールを設置	複数のシャーシプール(南本牧、他1箇所)を設置することの課題や走行距離等短縮・配車効率向上効果を確認 ・走行距離・時間短縮効果:位置情報システム ・配車効率向上効果:日報、事後アンケート(利用者)	○	○
		3-5	オンシャーシ駐車場のニーズへの対応	オンシャーシ駐車(空コンテナ限定)を可能とする運用	オンシャーシ駐車による走行距離等の短縮や配車効率の向上効果を確認 ・走行距離・時間短縮効果:位置情報システム ・配車効率向上効果:日報(利用者) ・利用傾向(時間、曜日、コンテナ非積載or積載):位置情報システム、監視カメラ、ナンバー認証カメラ	○	○
	シャーシシェアリングの位置情報	3-6	位置情報管理端末	R3dシャーシシェアリング実証実験で位置情報管理端末の有用性を確認済み	—	済	済
		3-7	位置情報の提供および利用方法	シェアリングシャーシの位置情報の提供範囲(陸運事業者・荷主など)や情報の取り扱い等に関するルールを設定	利用者(陸運事業者)へ位置情報を提供し、使い勝手やセキュリティ確保等の課題を確認 ※荷主への提供については今後検討 ・課題の把握:日報(運営者、利用者)、事後アンケート(運営者、利用者)	○	○

対象		課題		対応方針(案)	実証実験における確認方法(案)	次回実証	机上検討
準備	予約システム	3-8	予約ルールの変更に対応した改修	予約変更・キャンセル方法のルール見直しに対応した、予約システムの改修を実施	予約システムの使い勝手を確認 ・課題の把握:事後アンケート(運営者、利用者)	○	○
		3-9	位置情報提供・利用に対応した改修	シェアリングシャーシ利用者(陸運事業者)及び荷主が当該シェアリングシャーシの位置情報を閲覧できる機能を追加	利用者(陸運事業者)へ位置情報を提供し、システムの使い勝手を確認 ・課題の把握:事後アンケート(運営者、利用者)	○	○
貸出・返却	ダメージチェック	4-1	効率的なダメージチェック及びダメージ発見時に迅速に対応できる方法や体制	利用者(陸運事業者)がシェアリングシャーシ点検表を用いてダメージチェックを実施	事故・損傷時の対応マニュアル(案)に基づきドライバーが実施し、課題を確認 ・課題の把握:事後アンケート(運営者、利用者)	○	○
	貸出シャーシの管理	4-2	予約した時間より早く返却されたシャーシを、貸出可能なシャーシとして予約を開始する	早期返却後、利用者(陸運事業者)から予約センターへ返却の連絡をし、予約センターが予約可能シャーシとして設定を変更	実証実験にて稼働率向上効果を確認 ・利用状況の把握:予約システム ・課題の把握:日報(運営者、利用者)、事後アンケート(運営者、利用者)	○	○

※赤字:実証実験内容の追加または変更
青字:データの分析方法

対象		課題		対応方針(案)	実証実験における確認方法(案)	次回実証	机上検討
管理	シャーシの所在管理	5-1	シャーシの所在確認方法の検討	R3dシャーシシェアリング実証実験にて位置情報端末及び監視カメラの有用性を確認済み	—	済	済
	事故・損傷時等の対応	5-2	事故時の対応や責任分担	事象発生時の対応や責任分担等を明確にするため、対応マニュアル(案)を作成	事故・損傷時の対応マニュアル(案)による対応を確認 ・課題の把握: 日報(運営者、利用者)、事後アンケート(運営者、利用者)	○	○
		5-3	消耗品(タイヤ、灯火電球)の交換への対応や責任分担	事象発生時の対応や責任分担を明確にするため、対応マニュアル(案)を作成(再掲)	事故・損傷時の対応マニュアル(案)による対応を確認 ・課題の把握: 日報(運営者、利用者)、事後アンケート(運営者、利用者)	○	○

※赤字: 実証実験内容の追加または変更
青字: データの分析方法